

衛生センターの延命化事業に関するサウンディング型市場調査実施要領

1 調査の目的

衛生センター（し尿処理施設）の延命化の検討をするに当たり、民間事業者等から広く意見、提案を求め、対話を通じて延命化のアイデア、事業実施の意向を有する民間事業者等を把握することを目的とする。

2 既存施設の概要

- (1) 名称 沼田市外二箇村清掃施設組合 衛生センター
- (2) 所在地 群馬県沼田市恩田町309番地1
- (3) 敷地面積 6594.32 m²
- (4) 建築面積 管理棟 189.41 m² 処理棟 1,074.96 m²
- (5) 延床面積 管理棟 370.07 m² 処理棟 2,340.93 m²
- (6) 処理能力 78k1（し尿：46k1/日・浄化槽汚泥：32k1/日）
- (7) 処理方式 高負荷脱窒素処理方式＋高度処理方式
- (8) 竣工 平成9年3月31日

3 延命化工事の概要

一般的に25年から30年程度とされているプラント耐用年数を延長し、竣工から約50年稼働するために必要なプラント、電気等の設備延命化工事を計画する。

循環型社会形成推進交付金を活用する計画のため、施設稼働に伴うCO2排出量の削減など交付要件のすべてを満たす必要がある。

延命化工事期間中は、最低でも1ラインは運転することとし、整備期間は令和13年度から令和17年度までのうち3年から5年までの期間を計画する。

4 サウンディング項目

- (1) 既設メーカー以外の参入について
 - ア 参入実績
 - イ 参入条件
 - ウ 考えられるメリット及びデメリット
- (2) 現時点で考える延命化工事内容について（当組合の案）
 - ア 汚泥乾燥焼却設備の廃止・撤去（CO2排出量削減20%以上見込めるため）
 - イ 汚泥脱水機の更新（低含水率型の導入による助燃材化の検討を含む。）
 - ウ 前処理一体型の汚泥脱水機の導入検討（前脱水方式への転換等）
 - エ 脱水汚泥搬出設備の新設
 - オ レンタル脱水機の導入検討（新脱水機導入との費用対効果を検討）
 - カ アからオまでに伴う附帯工事（生物処理槽、脱臭設備等プラント全体への影響と対策）

(3) 最適な延命化工事について

- ア 延命化工事内容の提案と概算見積額の提示（本組合案と別の提案可）
- イ 延命化工事費を低減する方法
- ウ 延命化実績の中で優良な事例
- エ 期待する効果と工事規模との関係
- オ 定期補修工事及び整備工事との関係性
- カ 発注仕様等（性能発注方式）
- キ 工事期間等
- ク その他

5 調査の進め方

(1) スケジュール

日 程	内 容
令和8年4月16日	サウンディング型市場調査実施要領公表
令和8年4月16日～5月15日	参加申込期間
令和8年5月中旬～6月中旬	調査の実施期間
令和8年7月以降	調査実施結果概要の公表

(2) 調査内容の公表等

調査結果概要を本組合ホームページに公表する。

参加事業者名は公表しない。

(3) 提出した資料の取扱い

参加事業者が提出した資料は、アイデアやノウハウなどの知的財産が含まれることから原則非公開とする。ただし、開示請求があった場合は情報公開条例に規定する範囲内において開示する場合がある。

6 参加要件

一般廃棄物処理施設のし尿処理施設（高負荷脱窒素処理方式＋高度処理方式と同等以上の処理方式）で、処理能力30k1/日以上以上の施設を延命化又は基幹改良した実績（工事中を含む。）を有する事業者

7 申込方法

サウンディング型市場調査参加申込書に必要事項を記入し、次に掲げるいずれかの方法により提出のこと。

- (1) 持 参（参加申込最終日の午後4時30分まで）
- (2) 郵 送（参加申込最終日必着）

- (3) F A X (参加申込最終日の午後4時30分まで)
- (4) メール (参加申込最終日の午後4時30分まで)

8 参加申込期間

令和8年4月16日(木)から5月15日(金)まで

午前9時から午後4時30分まで (正午から午後1時までの間は除く。)

9 その他

(1) 本調査に要する費用

書類作成や個別対話の参加に伴う費用は、事業者の負担とする。

(2) 注意事項

本調査の内容を基に、延命化の実施に向けた検討をする。

本調査の参加実績は、入札手続等において優位性を持つものではない。

(3) 提出先 / 問い合わせ先

〒378-0051

群馬県沼田市上原町1801番地2 利根沼田文化会館2階

利根沼田広域市町村圏振興整備組合 一般廃棄物処理推進室

電 話 0278-22-3202

F A X 0278-22-3203

メール gomikouikika@mail.oze.or.jp